提案タイトル	AI・IoTを活用し、働き方改革と新たなビジネスの創出を実現するスマート産業都市 内閣府 近未来技術等社会実装事業

提案者	活用技術
三重県四日市市	AI・IoT

背景・課題

目指す将来像

- 日本有数の産業都市としての強みを生かし、企業と行政の協働でAI・IoTを活用した「働き方改革」に取り組むとともに、ものづくりの最前線へのIoTデバイス導入を拡大し、得られる多種多様なビッグデータを活用して新たなビジネス創出につなげる

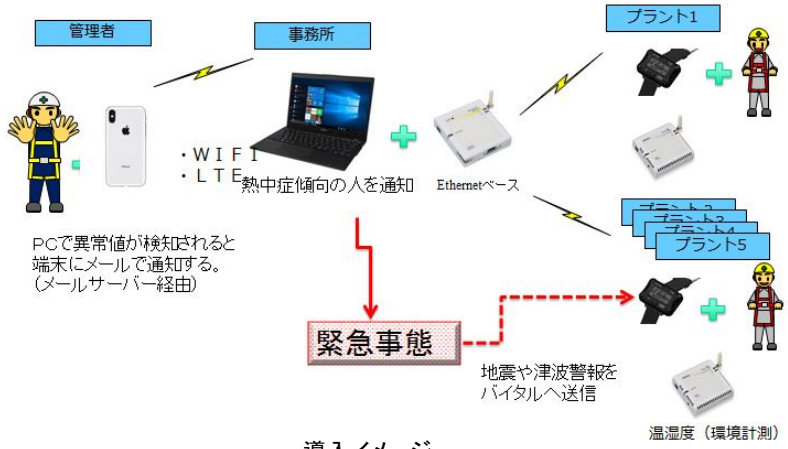
解決すべき課題

- 医療費・介護費の縮減という地域課題を解決するため、生活習慣病リスクが出現し始める働き盛り世代（団塊ジュニア）を中心に、活動時間の長い職場での働き方改革の取組を通じて健康意識を高める働きかけを行う必要がある
- 人材、情報量に限りがある中小企業にとっては、自社でのIoTデバイス導入が進みにくい。コンビナートでの導入をすすめ、その先に中小企業での活用も支援していく

実装を目指す主な事業内容

○事業：<u>バイタルセンサー開発・産学官連携による調査研究</u>

活用技術	事業概要
AI・IoT	• コンビナート企業が、安全管理向上を目的にウェアラブル端末（職員の転倒を検知するバイタルセンサー等）を開発する • ウェアラブル端末（バイタルセンサー等）から把握した企業の課題・ニーズを基に、中小企業が採用しやすい汎用モデルを研究し、導入する。取得したデータを解析・有効活用するデータサイエンティストの育成事業を開始する



導入イメージ

バイタルセンサーのイメージ